

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム おおさかの里

目標達成計画

作成日: 平成 22年 9月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	制度の理解と活用が一部の職員であるので、研修会を開催し、全職員が権利擁護と成年後見制度の制度を理解し、活用出来るようにしていく。	権利擁護、成年後見制度の資料やパンフレットを揃え、全職員に理解してもらい、利用者や家族に説明出来る体制にしていく。	12ヶ月
2	37	災害対策	1ユニットであるがスプリンクラーを設置し、災害対策は万全と思っていたが、外部評価で、定期的な避難訓練の実施と、地域住民参加、夜間を想定した避難訓練の実施が指摘されたので検討していく。	消防署の指導で、地域住民の協力を得て、年2回の防災訓練と、夜間想定避難訓練の実施を目指す。	12ヶ月
3		職員の質の向上と質の確保	職員の技術力と経験、高齢者が好きであるという要素を基本とし、職員一人ひとりの習熟度、意欲を考慮し、外部、内部の研修会に参加してもらい、介護サービスの質の向上に繋げていく。	職員がホーム運営に関することを、気楽に話せる雰囲気づくりと、生き活きと仕事出来る環境づくりを目指し、職員の定着を図っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。